



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

人文社会学部

地域と世界をつなぐ
知と創造力を沖縄から

2025

Faculty of Humanities and Social Sciences

国際法政学科 人間社会学科 琉球アジア文化学科

人文社会学部の教育研究上の目的

人文社会系の専門的、学際的分野において真理を探求し、それを基に、個人の尊厳と基本的人権を尊重する平和・共生社会の形成者、社会全体の持続的発展に寄与する人材を育成します。



人文社会学部HP



人文社会学部

国際法政学科…P3

人間社会学科…P5

琉球アジア文化学科…P7

学部長メッセージ



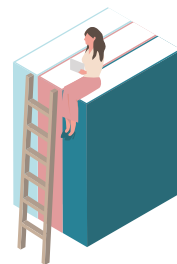
人文社会学部長
本村 真

地球上の多様な変化が今まで人類が経験したことの無いスピードで起こっている今、これまでの経験の積み重ねで得られた知識は役に立たないと言う人もいます。その一方で、新たなウィルスの蔓延や戦争、多くの人権侵害が、今もなお世界中で繰り返されているという現実を皆さん方は目の当たりにしています。このような現代社会では、既存の知識に正解を求めるのではなく、課題解決に向けたその時々での最適解はどのように求めることができるのかを考え続け、納得感をもって行動する力が求められます。

人文社会学部では、皆さん方がその力を身につけるための土台として「平和・共生・沖縄理解」をキーワードとした様々な学びを、教職員一同となって提供します。自然・文化・歴史・社会のいずれにおいても多様性・独自性をもつ沖縄の地で、多くの出会いとともにその力をつけていきませんか。

学科・プログラム別募集人員

学科	プログラム	入学定員	一般選抜		特別選抜		私費外国人	3年次特別編入
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅱ	帰国生徒		
国際法政学科	法学プログラム	80名	50名	10名	10名	若干名	若干名	4名
	政治・国際関係学プログラム				10名			
人間社会学科	哲学プログラム	80名	41名	18名	5名	若干名	若干名	4名
	心理学プログラム				8名			
	社会学プログラム				8名			
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	40名	25名	9名	6名	若干名	若干名	2名
	言語学プログラム							
	文学プログラム							



人文社会学部は、国際法政学科、人間社会学科、琉球アジア文化学科の3学科のもと、法学プログラム、政治・国際関係学プログラム、哲学プログラム、心理学プログラム、社会学プログラム、歴史・民俗学プログラム、言語学プログラム、文学プログラムの8プログラムで構成されています。

※国際法政学科、人間社会学科の学校推薦型選抜Ⅱは、各プログラム別で募集を行います。

※大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等、より詳細な情報は、『入学選抜要項』に記載がありますので、受験される方は必ずご確認ください。

※国際法政学科の3年次特別編入は、志望プログラム毎に試験を行います。プログラム毎の目安人数は次のとおりです。

法学プログラム：2名、政治・国際関係学プログラム：2名

各プログラムへの配属について

各学科単位で募集を行い、1年次は合格した学科に所属します。1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき所属する学科の各プログラムへの配属を決定します。

(全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。)

※右記人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。ただし、国際法政学科、人間社会学科において学校推薦型選抜Ⅱで入学した学生は、合格したプログラムに配属となります。

学科	プログラム	受入人数
国際法政学科	法学プログラム	40名
	政治・国際関係学プログラム	40名
人間社会学科	哲学プログラム	20名
	心理学プログラム	30名
	社会学プログラム	30名
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	14名
	言語学プログラム	13名
	文学プログラム	13名

アドミッションポリシー(求める学生像)

知識・技能

大学における人文社会分野の学びの土台となる
高校での学習内容に関する基礎的な力を有する人

思考力・判断力・表現力

答えが一つに定まらない問題に自ら解を見出していく
基礎的な力を有する人

主体性・協同性

主体性を持って多様な人々と協働して
学ぶ態度・スキルを有する人

目的意識

人文社会学部の学問分野に対する強い関心と
学びの意欲を有する人

教育カリキュラムの構成

		1年次	2年次	3年次	4年次	卒業(進学・就職)
共通教育科目		教養領域(人文系科目、社会系科目、自然系科目、健康運動系科目) 総合領域(総合科目、琉大特色・地域創生科目、キャリア関係科目) 基幹領域(情報関係科目、外国語科目)				
		平和共生・沖縄理解科目群 ※科目指定				
専門教育科目	学部共通基盤科目	基礎演習Ⅰ ▶ 基礎演習Ⅱ ▶ 基礎演習Ⅲ				
	学部共通科目	平和共生・沖縄理解基盤科目				
		キャリア関係科目				
	国際法政学科 法学プログラム 政治・国際関係学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目			
		プログラム専門科目	基盤科目 ▶ 発展科目			
人間社会学科 哲学プログラム 心理学プログラム 社会学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目				
	プログラム専門科目	コア基盤科目 ▶ コア発展科目 ▶ 発展科目				
琉球アジア文化学科 歴史・民俗学プログラム 文学プログラム 言語学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目				
	プログラム専門科目	コア基盤科目 ▶ コア発展科目 ▶ 発展科目				

01 「共通教育科目」の履修

1～2年次を中心に、全学共通の共通教育科目を履修することによって、文系・理系の知にバランスよく触れ、外国語科目の履修によって国際性を身につけます。人文社会学部の共通教育における特徴は、「平和共生・沖縄理解」に関する科目を指定し、6単位以上を修得することです。これにより、平和共生・沖縄理解に関する文系・理系の知を修得します。

03 「学科共通科目」の履修

学科共通科目は、学科基盤科目と学科発展科目とからなります。これらの科目を順次履修することによって、学科の共通の基盤となる知を身につけ、さらにその知を発展させます。



02 「学部共通科目」の履修

学部共通科目のうち「学部共通基盤科目」は、「基礎演習Ⅰ」が1年次前期の配当で、大学で学ぶための基礎的な技能の演習(導入)を実施します。「基礎演習Ⅱ」では、口頭発表・討論・レポート作成を中心とした基礎的な演習(展開)を実施します。次に「基礎演習Ⅲ」を履修し特定課題を中心とした口頭発表・討論・レポート作成の演習(発展)を実施します。



04 「プログラム専門科目」の履修

プログラム専門科目は「プログラムコア基盤科目」、「プログラムコア発展科目」及び「プログラム発展科目」である(※国際法政学科は「プログラム基盤科目」と「プログラム発展科目」)。これらの科目を順次履修することによって、学部共通科目や学科共通科目で培った知を基に、演習形式におけるアクティブ・ラーニングによって、専門的な学びを学年が進むとともに深め、卒業論文を完成させます。(法学プログラムは選択)。

国際法政学科



国際法政学科HP



WEB 説明会 アーカイブ

学科概要

1. 学科の教育理念・目的

国際法政学科は、法学・政治学・国際関係学に関する専門的知識を学び、豊かな学際的知を形成しながら、多様な社会との共生のあり方や持続的発展のための政策提言・発信力、及び平和共生社会を構築できる実践力を持つ人材の輩出を目指しています。そのため、当学科は、法学プログラムと政治・国際関係学プログラムから構成され、法学・政治学・国際関係学をバランスよく学べるカリキュラムを設けています。さらに、弁護士など法曹職を目指す学生に向けて法曹コースを設置し、法科大学院と連携して多くの科目を開講しています。

2. 求める学生像

法学・政治学・国際関係学などを中心とする社会科学分野の学問を土台として、現代社会における諸問題を総合的かつ体系的にとらえて、問題の本質を見極め、その解決策などを研究していきます。そのため、当学科は、①人間社会や社会科学への深い関心、②柔軟かつ総合的な思考力、③主体的に学ぶ意欲を持った人材を求めています。

3. 育成する人材像

法学・政治学・国際関係学の学びを通して、リーガル・マインドを持ちつつ政治や行政、国際関係に精通する人材を養成し、地方・国家公務員、マスコミ、法曹、国際公務員、企業の国際職など高度専門職につける人材を輩出することを目指します。

留学について

琉球大学と提携している世界中の各大学へと交換留学することが可能です。特に、政治・国際関係学プログラムでは、海外大学に交換留学しても琉球大学を4年間で卒業できる仕組みを設け、交換留学を積極的に進めています。

今までこの制度を利用して、これまで、ネバダ州立大学(米国)、イースト・ミシガン大学(米国)、ハワイ大学(米国)、シェフィールド大学(英国)、ソウル市立大学(韓国)、高麗大学(韓国)、延世大学(韓国)、福建師範大学(中国)、国立台湾大学(台湾)、中山大学(台湾)などに留学しています。また、学科独自の授業として、短期の海外研修(ハワイ、ソウル、台湾)科目も展開しています。

主要科目

憲法・民法・刑法・商法・刑事手続と人権・民事手続法・行政法・社会保障法・労働法・刑事政策・LS進学等特修クラス・政治過程論・行政学・地方自治論・公共政策学・国際政治学・日本政治外交史・国際関係史・国際社会学・比較政治学・東アジア国際関係論・政治国際関係学概論

想定する進路(※過去の実績に基づき抜粋)

【国家・地方公務員等】

沖縄県庁、法務省(総合職)、外務省(総合職)、防衛省、内閣府沖縄総合事務局、国税庁、福岡出入国在留管理局那覇支局、沖縄県警、那覇地方裁判所、琉球大学(事務)、那覇市役所等各市町村役場など

【マスコミ】

NHK、共同通信、琉球新報、沖縄タイムス、琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送、朝日新聞、西日本新聞など

【民間企業】

琉球銀行、沖縄銀行、沖縄振興開発金融公庫、大同火災海上保険、沖縄電力、JAL、JTA、ANA、サンエー、日本郵便、JTB沖縄、沖縄ゼロックス、ザ・ナハテラス、大同生命保険株式会社、株式会社ビーンズラボなど

【大学院進学】

琉球大学、東京大学、京都大学、一橋大学、大阪大学、東北大学、早稲田大学、同志社大学、ハワイ大学など

▼海外研修(韓国ソウル)



▼海外研修(米国ハワイ)



▲1年次研修(県議会)



▲海外研修(グアム)



森川恭剛先生のメッセージ

問題意識を持ち、幅広い教養を

学校で人権は守られていますか。やむなくブラック校則や教員の横柄な態度を受け入れてきた人もいるでしょう。学校の人権侵害を肌で感じて法学を学びたいと考えた人は、憲法学を専攻して子どもの人権論を研究できます。それでも学校を変えようとするれば政治学、教育学、社会学等の幅広い知識が必要になります。こうして勉強を積み重ねるうちに他の法律問題に興味が出てくるかもしれません。それもとてもよいことです。問題意識を持ち、幅広い教養を身につけ、どうぞ法学を探究してください。

さて琉大の法学プログラムは小規模の教育単位ですが、法科大学院の先生方の協力を得て多くの法律科目を開講しています。そして3年次以降は毎週1回の法学演習で特定の法分野を深く掘り下げて学べるようになっていきます。これまで研究者や法曹、国家・地方公務員のほか県内・県外企業などに幅広く人材を輩出してきました。



授業風景

ゼミでの 主な学習テーマ

- ・土地の利用をめぐる争い
- ・不法行為に基づく損害賠償
- ・人格権にかかわる紛争
- ・民事裁判における手続保障
- ・退職をめぐる問題
- ・職場におけるいじめ
- ・戦後沖縄の刑事法制
- ・辺野古裁判と地方自治
- ・行政処分職権取消と撤回
- ・医療保障と医療制度改革
- ・生活保護をめぐる問題



台湾研修

教員一覧

■徳田 博人 教授

行政法

■森川 恭剛 教授

刑法

■高田 清恵 教授

社会保障法

■戸谷 義治 教授

労働法

■三浦 毅 准教授

民事訴訟法

■李 妍淑 准教授

民法

■一藁 幸 講師

民法



阿部小涼先生のメッセージ

政治学はいつも新しい可能性に満ちた現場

たとえば、これまでの政治学が取り扱ってきた西洋近代主義的な自由は、奴隷の身分を参照項として、財産を所有し自由に処分できることとして定義されてきた。いっぽう『万物の黎明』という本を書いたグレーバーとウェングロウは、人類学と考古学の分野から、自由の原基を、移動し立ち去る自由、服従しない自由、新しい社会関係を選び直したり作り直したりできる自由に見出している。逃げる自由のための政治学とは、なんと素敵な響き！このように政治学はいつも新しい可能性に満ちた現場となり得る。

政治・国際関係学プログラムの大学生たちは、文献や史資料を読みこなし、フィールドを歩き、歴史学や社会科学の思考をも血肉にして、グローバルな戦場から労働や日常の生きづらさまで、さまざまな問いを建て直すためのカギを見つけ出そうと、今日も奮闘しています。



授業風景

主な卒業 論文のテーマ

- ・ヒップホップ・カルチャーにおける不可視化され、周縁化したLGBTQの人々の存在
- ・二つの同盟理論から読む現代の日韓関係—疑似同盟理論および脅威均衡理論による検証—
- ・変化する女性表象—女性ファッション誌『VERY』の分析を通して—
- ・沖縄県におけるヘイトスピーチ規制条例の制定過程—罰則規定導入の是非めぐって—
- ・米軍基地の跡地利用を考える—一島嶼県沖縄の持続的な発展にむけて—
- ・積極的投票権保障の拡大と課題—沖縄県西原町の投票データを用いた積極的投票権保障制度の効果検証—



新歓ビーチパーティー

人間社会学科



人間社会学科HP



WEB 説明会 アーカイブ

学科概要

1. 学科の教育理念・目的

【学科共通】現代は、社会や自然の急激な変化や価値観の多様化の中で、人間をとりまく諸問題がますます複雑になっています。こうしたなかで、経済や科学技術、環境問題などに関する地球規模での人類の連帯の必要性とともに、地域・民族・文化・思想・伝統の多様性の認識が重要なテーマとなってきています。そして人間の心のあり方や人間らしい生き方、人間集団としての社会のあり方そのものが大きく問われています。人間社会学科では、人間を中心に据えながら、人類が直面する問題を社会・文化・地域・環境といった多角的な視点から探求し、幅広い知識と寛容の精神を持って時代の創造者になるような人材の育成を目指しています。

【哲学プログラム】哲学プログラムでは、生と死、人間・世界、知、環境、生命、科学技術等について、文献読解や討論を通じて原理的・本質的な探究を行います。またそれと同時に、哲学・倫理学での知見を基にして、現実社会での喫緊する課題についても探求します。

【心理学プログラム】心理学プログラムでは、心理学の基礎的分野から応用的分野まで幅広くカリキュラムが提供されており、包括的に心理学を学ぶことができます。また実験などを体験的に学ぶことで、科学的な方法論やデータ分析、さらには報告の仕方まで、心理学のみならず社会で活用できる能力も身につけることができます。

【社会学プログラム】社会学プログラムでは、社会福祉学・平和共生社会の2つのコースが連携しながら、人間と社会・地域との関係や問題を探っています。少人数教育のメリットを活かし、社会調査実習、福祉施設や相談機関での実習(社会福祉士資格関連)、ドキュメンタリー制作実習などの実習科目に力を入れているのが特徴です。地域の平和に関する課題や多文化共生など、沖縄ならではのテーマを十分に学習できる点も、社会学プログラムの魅力のひとつです。

2. 求める学生像

思想・心・社会に強い関心を持ち、多面的な観点から物事を考察し自分なりの意見をまとめることができ、市民社会の発展や生活問題の解決にも貢献できる人を求めています。

3. 育成する人材像

人間科学に関する専門的な知と幅広い学際的知を基に、個人の尊厳を保ち、誰もが自由・公平に、また安心・安全に生きられる社会を形成できる人材を養成します。

留学について

琉球大学と協定を提携している世界中の各大学へと留学することが可能で、この制度を利用して、これまで(旧・法文学部時代)に、デュッセルドルフ大学、ハワイ大学ヒロ校、コンケン大学(タイ)、ラオス国立大学、延世大学などで学んだ学生がいます。また、文部科学省と民間企業とで運営する「トビタテ! 留学JAPAN」を利用した学生もいます。

哲学プログラム



久高将晃先生のメッセージ

哲学すること

哲学とはどのような学問でしょうか。過去の哲学者の思想を学ぶことと思われるかもしれませんが、ドイツの哲学者カントはこう述べています。「われわれは哲学を学ぶことはできない、哲学することを学ぶのみである」。彼によれば、哲学とは過去の哲学者の思想を知るではありません。では、「哲学すること」とは何でしょうか。われわれは、いろいろなこと(例えば、道徳的であるべきことや自由であることなど)を当り前のこととして日々を過ごしていますが、ときに当り前と思われることについて本当にそうなのだろうかとその根拠を問うこともあるでしょう。みずから立てた問いを根拠から考える、これが哲学することなのです。あなたも哲学プログラムで、哲学することを学んでみませんか。



合同ゼミの風景

想定する進路

大学院進学、
公務(県市町村の役所の職員、警察官)、
民間企業(金融、製造、情報通信、サービスなど)、
高校教員



教員一覧

■寺石 悦章 教授

哲学、人間学、宗教思想、東洋思想

■久高 将晃 教授

現代ドイツ哲学、倫理学

■吉満 昭宏 准教授

現代英米哲学、非古典論理学



橋本光平先生のメッセージ

データに基づき人間心理を探求する

人間に関する興味は尽きません。私自身もそのような興味から人文諸学を学び始めました。心理学はそのような人間を探求しようとする人文諸学の1つであると私は考えます。人間を探求したいという同じ興味を持つ学問のなかで心理学の特徴はなんでしょうか。それは、観察、調査、実験といった方法でデータを取得し、統計を使って得られたデータを分析し、科学論文としてその結果を発信することです。このような方法を通して、人間の心理や行動の法則に接近しようとするのが心理学です。本プログラムでは、体系的に心理学を学ぶことを通して単に心理学の知識を身につけるだけではなく、人間に接近する際の心理学的態度や方法を身につけることができます。そしてこれらの態度や方法の修練は、心理専門職だけではなく、多様な業界で求められる論理的・分析的思考や問題解決力、発信力の涵養につながるはずです。みなさんとともに、心理学することを楽しみにしています。



心理学実験の風景

教員一覧

■新任教員

臨床心理学

■泊 真児 教授

社会心理学、心理学教育、青少年の健全育成

■田中 寛二 教授

臨床心理学、加害者臨床、カウンセリング

■高良 美樹 准教授

社会心理学、アイデンティティ

■草野 智洋 准教授

臨床心理学、ロゴセラピー、離婚後親子支援

■橋本 光平 講師

臨床心理学 行動分析学

■新任教員

認知心理学

想定する進路

大学院進学、国家公務員（一般職、家庭裁判所調査官、法務教官、法務技官など）、地方公務員（一般職、心理職等）、民間企業（金融、製造、情報通信、サービス、大学事務など）、心理専門職

【指定大学院修了後】

教育相談員、病院心理士、スクールカウンセラーなど

取得可能な資格

認定心理士

受験資格が 得られるもの

公認心理師（卒業後に、実務経験、または、大学院進学が必要）



波名城翔先生のメッセージ

離島の社会福祉問題にアプローチする

日本は14, 125の島嶼で構成され、416の有人離島があります。近年は離島観光ブームで皆さんもどこかの離島に訪れたことがあるかも知れません。私の生まれた宮古島も一年を通して多くの観光客が訪れます。

観光地として賑わう一方で、離島では人口減少や高齢化など多くの問題を抱えています。私は精神保健福祉の視点から離島の精神障がい者支援や自殺対策の研究に取り組んでいます。離島では、島内の精神科医療機関や支援施設などの社会資源が脆弱であり、人と人との距離が近すぎて相談や支援がしづらといった課題があげられます。離島という限られた環境の中で島民の暮らしを支えていくために、ぜひ皆さんとともに考えていけたらと思っています。



浦添市社会福祉協議会との連携授業

教員一覧

■野入 直美 教授

比較社会学（移動、境界、マイノリティ、共生）

■謝花 直美 准教授

メディア社会研究（新聞と社会、沖縄報道、沖縄戦・戦後史報道）

■渡久山 清美 講師

ジャーナリズム研究（沖縄関連報道の調査・研究）

■新任教員

社会学

■本村 真 教授

社会学（人を支援するための有効な方法）

■田中 将太 准教授

社会学（NPOによる福祉サービスと中間支援）

■波名城 翔 講師

社会学（島嶼福祉、精神障害者への支援、自殺予防対策）

想定する進路

大学院進学、沖縄県やその他の官公庁（一般行政職や福祉職等）、沖縄県・市町村社会福祉協議会、病院、施設、相談機関、県内外マスコミ、民間企業（金融、運輸、流通、情報通信など）

受験資格が 得られるもの

社会福祉士



久米島の観光バリアフリー調査

琉球アジア文化学科



琉球アジア文化学科HP



WEB 説明会 アーカイブ

学科概要

1. 学科の教育理念・目的

【学科共通】本学科では、琉球・沖縄、日本、朝鮮半島、中国・台湾を、歴史、民俗、言語、文学を通じて多角的に、総合的に学びます。これらの地域は歴史的にも、現在も相互に影響を及ぼしあっています。地域研究を中心としつつ、他地域とのつながりも研究しています。

教育・研究を通して、資料(史料)・情報を収集する能力を身につけ、根拠ある主張を論理的に展開できる人材を育成したいと思っています。沖縄・琉球をはじめとする地域社会や文化を理解し、その継承発展に貢献したいと考えています。

【歴史・民俗プログラム】琉球・沖縄や日本、中国・台湾、朝鮮半島を中心とした地域の歴史・民俗学に関する研究をします。専門知識を深めていくなかで、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを積極的に発信する人材を育成することを目指しています。

【言語学プログラム】琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の言語学に関する研究をします。文化の基盤となる言葉の理解を通して、異なる文化背景を持つ人々とコミュニケーションする能力を身につけます。

【文学プログラム】琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の文学に関する研究をします。文化や文学を深く読み解くことを通して、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力の育成を目指しています。

2. 求める学生像

本学科では、次のような人に入学者、学んで欲しいと思っています。

(1)琉球・沖縄、日本、中国・台湾、朝鮮半島の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を持っている人

(2)こうした地域の違いと類似性に目を向けつつ、主体的・積極的に研究できる人

(3)社会・文化の発信や継承・発展に寄与することができる人

3. 育成する人材像

本学科は、琉球・沖縄、日本、中国・台湾、朝鮮半島の歴史・民俗、言語、文学に関わる学問を教授します。そして教育・研究を通して以下の人材を育成することを目指しています。

(1)資料(史料)・情報を収集する能力を身につけた人材

(2)資料(史料)・や情報の整理・分析を通して、根拠にもとづいた主張を展開できる人材

(3)成果をまとめ、論理的で説得力のある説明ができる人材

(4)他者との意見交換を通して、多様な見解や価値観を受け入れ、柔軟に修正・改善する姿勢を持つ人材

留学について

琉球大学と協定を提携している世界中の各大学へと交換留学することが可能です。この制度を利用して、これまで、ソウル市立大学(韓国)、延辺大学(中国)、国立台湾大学などに留学しています。また、台湾の協定校で研修を行う「海外文化研修(中国語圏)」の講義をとることもできます。

想定する進路(※過去の実績に基づき抜粋)

公務員、大学院進学、マスコミ、出版社、金融業・保険業、生活関連サービス業、郵便業、宿泊業、製造業、情報通信業、教育・学習支援業

取得可能な資格・免許

免許:中学校教諭一種免許(国語)、高等学校教諭一種免許(国語)

資格:博物館学芸員

歴史・民俗学プログラム



高橋そよ先生のメッセージ

琉球弧の歴史文化を学ぶおもしろさ

皆さんは、沖縄を中心に置いた世界地図を見たことがあるでしょうか。琉球弧に生きる人々は古くから様々な島や人と交流しながら社会を形成してきました。琉球王国時代には日本や中国、東南アジアの影響を受けながら独自の文化を発展させ、現在もそれは沖縄の文化に深く息づいています。さらに島々では、その社会や環境の特性に応じて、生業(なりわい)の技術や民俗語彙(みんぞくごい)、在来知、信仰、社会組織、経済慣行などの地域固有の文化を育んできました。島ごとに異なる文化の多様性との出会いは、琉球弧で民俗学を学ぶおもしろさの一つです。琉球民俗学ゼミでは、今を生きる沖縄・琉球の民俗文化を歩き、見て、聞く「フィールドワーク」を重視し、歴史軸の上に、その現代的な意味を思索することを大切にしています。



琉球民俗学のゼミ発表の様子



与論島でのフィールドワーク

教員一覧

■麻生 伸一 教授

琉球史

■大濱 郁子 准教授

沖縄近現代史

■中村 春菜 准教授

中琉関係史

■高橋 そよ 准教授

琉球民俗学



當山奈那先生のメッセージ

複雑で、システマティックな人間言語の謎

「琉球語」と聞いて、例えば、どのようなものがうかびますか？最初の講義でたずねた時、学生からは、「アワテレー」「食ベキレン」「クワッチーサピラ」「〇〇サー」「アイジャ」「マサイ」などが出てきました。私達は、このような琉球列島で話されているコトバについて、いわゆる伝統的なコトバや若い人達が使っている新しいコトバも含めて、幅広く研究をしています。ある有名な言語学者は、人間の言語を至高の芸術作品と例えましたが、琉球語のある辞典を作った方は、「人は無意識のうちに美しく素晴らしいコトバの布を織っている」とおっしゃっていました。複雑で細かく、システマティックな人間言語の謎に、地域のコトバから追ってみませんか？



教員一覧

■當山 奈那 准教授

琉球語学

■金城 ひろみ 准教授

中国語学・中国語教育学

■井伊 菜穂子 准教授

日本語学



奄美でのフィールド調査の様子(2018年)



1年生の講義で大学内史跡をまわりました



吳世宗先生のメッセージ

朝鮮文学は世界に広がって読まれています

「朝鮮文学」からどのような文学作品を想像するでしょうか？『82年生まれ、キム・ジヨン』『フィフティ・ピープル』など、最近多く翻訳され始めた韓国の現代文学も「朝鮮文学」に含まれます。『春香伝』や『洪吉童伝』といった古典も、金東仁「いも」や李光洙『無情』といった戦時中の作品ももちろん入ります。それだけでなく、朝鮮民族は世界に広がって生活していますので、英語で書かれたミンジン・リー『パチンコ』や日本語で書かれた金時鐘『猪飼野詩集』なども「朝鮮文学」です。「朝鮮文学」は歴史や地域、そして言語を超えた幅広いジャンルとなっていて、世界的な観点、ジェンダー的な観点あるいは日本文学との比較から考察することができます。ぜひ一緒にいろんな作品に触れてみませんか。

教員一覧

■新城 郁夫 教授

日本文学・沖縄文学

■吳 世宗 教授

朝鮮文学・在日朝鮮人文学

■前城 淳子 教授

琉球文学

■平良 妙子 准教授

中国古典文学・琉球漢詩文



研修で勝連城址にいきました(2018年)



卒業論文発表会の様子(2019年)

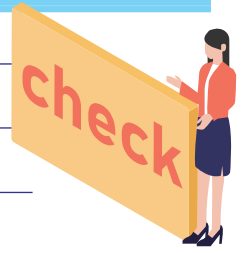


韓国・釜山の「国際市場」「国際市場で会いましょう」の舞台

4月1日 学年・前学期開始(15週)
 4月3日～8日 全学部の新入生オリエンテーション
 サークル紹介
 ※人文社会学部の新入生オリエンテーション
 個人の時間割作成
 仮登録期間
 4月4日 入学式
 4月11日 前学期授業開始
 5月25日 体育祭
 7月14日 オープンキャンパス

7月31日～8月6日 前学期試験期間
 8月9日～9月30日 夏季休業
 9月21日・22日 琉大祭
 9月24日～9月26日 後学期仮登録
 10月1日 後学期開始(15週)
 10月1日 後学期授業開始
 12月4日 学校推薦型選抜等
 12月24日～1月5日 冬季休業

1月18日～19日 大学入学共通テスト
 2月3日～2月7日 後学期試験期間
 2月13日～3月31日 春季休業
 2月25日・26日 一般選抜(前期)
 3月12日 一般選抜(後期)
 3月25日 卒業式

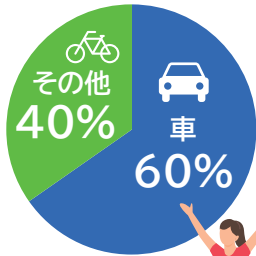


学年暦

※教員から学生生活全般に対する助言や、科目履修等に関する説明があり、在校生からも様々なアドバイスがもらえます。

大学への学生の交通手段

人文社会学部では、約6割の学生が車で通学しています。片道2km以上の通学距離がある場合、駐車場利用のための入構許可証が発行できます。



入学年の授業料等 (2024年度)

合計	¥817,800	入学料	¥282,000
		授業料(年額)	¥535,800

学生をサポートする各種制度があります

各種制度		
授業料・入学料免除等	給付奨学金(日本学生支援機構)+授業料免除(大学)が受けられる修学支援新制度のほか、大学独自の緊急支援制度などもあります。	授業料・入学料免除等(琉大HP)
奨学金	日本学生支援機構が実施する奨学金制度があります。	日本学生支援機構HP
学生寮	琉大キャンパスの宜野湾口(北口)近くに学生寮(千原寮)があります。2022年に改修工事が完了しました。	学生寮について(琉大HP)

☆新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、琉球大学でも遠隔授業が実施されるようになりました。それとともに琉球大学では数理データサイエンス教育(数理的思考力とデータ分析・活用能力を養う教育)の強化を方針に掲げています。今後はより一層パソコンやインターネットを活用した授業・学習の機会が増えていくことでしょう。以下では、これに関連したトピックを紹介します。

遠隔授業について

遠隔授業の実施方法としては主にMicrosoft TeamsやZoom、WebClass(e-Learning)を用いたものがあります。授業ごとに実施方法が異なりますので授業を履修する際に確認しましょう。

※Microsoft Teamsのほか Microsoft Office のソフト (Word、Excel、PowerPoint 等)及び WebClass は在学中、無償で利用できます。



ネット環境について

授業期間中、本学部(文系講義棟)では授業で使用されていない時間帯については遠隔授業等で利用できるよう教室を開放しています。各教室では、学生なら無料で Wi-Fi の使用が可能です。



ノートPC必携化

2022年度入学生からノートパソコン等が必携となりました。ノートパソコン購入を検討される方は、こちらから大学が推奨するPCのスペックを確認できますので、参考にしてください。

※条件を満たすノートパソコン等を既にお持ちの方は、新たに購入する必要はありません。
 ※推奨するスペックを満たすパソコンは琉球大学生生活協同組合でも販売・サポートしています。



学生インタビュー

※あくまでも一例であり、
学年や生活スタイルによって異なります。



interview

国際法政学科

Aさん/男性/4年次/
出身…県内本島/住居…自宅



家族からの援助	:教材費1万円程度	食費	:月3万円程度
奨学金	:なし	ガソリン代	:なし
アルバイト	:月12万円程度	その他	:趣味・娯楽費5万円程度
住居費	:なし		



講義

3年次後期は地方自治論、地球環境論、国際関係学特殊講義B、適応の心理、基礎演習Ⅲの5つだけを履修しています。就活も本格化してくるので、後期にはなるべく講義を残したくないという思いがありました。そのため、集中講義やオンラインの講義などを活用して、毎期ごとに20単位以上は取得するように心掛けていました。

サークル活動

学外のオンラインプラモデルサークルに所属
サークル内での作例コンテストの運営や、作例をSNS上にアップしてコラムを投稿する広報も担当、モノづくりやエンタメなど、好きなこと一直線に学生生活を満喫しております。

アルバイト

沖縄市にある模型店のアルバイトスタッフとして、米軍基地から来店するお客様の接客をしたり、模型製作のアドバイザーとして、模型製作の方法を教えたりしています。店のショーケース内にあるプラモデルの製作業務なども担当していますが、正直なところ趣味の延長でもあるので楽しく働いております。

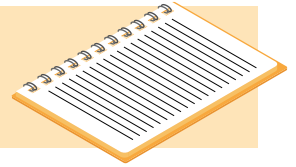
interview

人間社会学科

Bさん/男性/3年次
出身:県外
住居…アパート



奨学金なし		食費	:3.5万円
仕送り	:8.5万円	ガソリン代	:7千円
アルバイト	:月9万円	その他	:2万円
住居費	:3万8千円		



講義

今ではほとんどの授業が対面で行われています。家は大学の近くではありませんが、教室までの移動は大変だと感じる時もあります。しかし、教室に行けば授業に集中し、日常を送っている実感が得られるので満足できていると思います。大学になって自分で調べてレポートを書き、発表をするという講義も増えたため、さまざまな知識や考え方を学ぶことが出来ます。自分の学部学科の専門的な講義はもちろんですが、共通科目として興味のある分野を学ぶことも楽しいポイントです。また、西表島で行われる集中講義のように琉球大学でしか受けることが出来ない講義もあるため、自分のやる気次第で刺激のある大学生活を行える環境が整っていると感じます。

サークル活動

所属していません。しかし、友人の手伝いとして時々ボランティア活動として友人が企画した交流会に参加することはあります。また、その友人たちと共に国内外へ旅行へ行くことや沖縄県内でスポット巡りをするなど、基本的に自由に活動しています。

アルバイト

レンタカーアルバイトをしています。基本的には土日祝の勤務で1日8時間、夏休みや冬休みには多めにシフトを入れて働いています。職場が大学から遠く、平日の講義がある日は働いていません。元々、車を運転することが好きだったこともあり、出勤時や職場での車の運転は苦になりませんが、人によっては辛いかもしれません。しかし、大学から遠いために大学では会うことの出来ない沖縄の知り合いを増やすことができ、交友関係は広がったと思います。私はこのバイトを楽しんでいますが、人によっては楽しめないと感じるバイトもあると思います。そういう時は思い切ってバイト先を変えるのも手です。楽しんで働けることに越したことはないと思います。

interview

琉球アジア文化学科

Cさん/女性/卒業生
出身…県内離島/住居…アパート



奨学金なし		食費	:1.5万円
仕送り	:月5万円	ガソリン代	:5千円
アルバイト	:月6万円	その他	:なし
住居費	:4万円		



講義

1年次と2年次は、コロナ禍でほとんどの授業がオンライン授業になり、慣れるまでは少し大変でしたが、慣れれば時間を有効に使うことができました。3年次は対面形式の授業もあればオンラインでの授業もあったので、講義の受け方や課題の提出方法などを把握しておくのが少し大変でしたが、大学の友達と会う機会も増え、より充実した大学生活を送ることができました。4年次は単位をほぼ取り終え、授業は少なかったのですが、私は教職をとっていたため、教職の授業に加えて、教育実習、教員採用試験に向けての勉強などがあり、少し忙しかったです。また、卒業論文の執筆も並行してやる必要があるため、少しでも負担を減らすために、1年次から計画的に履修することをお勧めします。

サークル活動

サークルには所属していませんが、授業等を通してさまざまな地域での方言調査やそれをもとにしたテキスト作りを行っていました。これまで、豊見城高安、金武、伊平屋で動詞の活用や動植物の方言名などを調査しました。また、方言に関するイベントの運営のお手伝いなどもしていました。

アルバイト

大学内でのアルバイトと学外でのアルバイトをかねもちしていました。大学内のアルバイトでは、琉球方言に関わるアルバイトをしています。自分の時間割に合わせてシフトを組むことができるため、勉強との両立がしやすく、また、自分の専門の分野の勉強にもなっています。

琉球大学 人文社会学部 2025

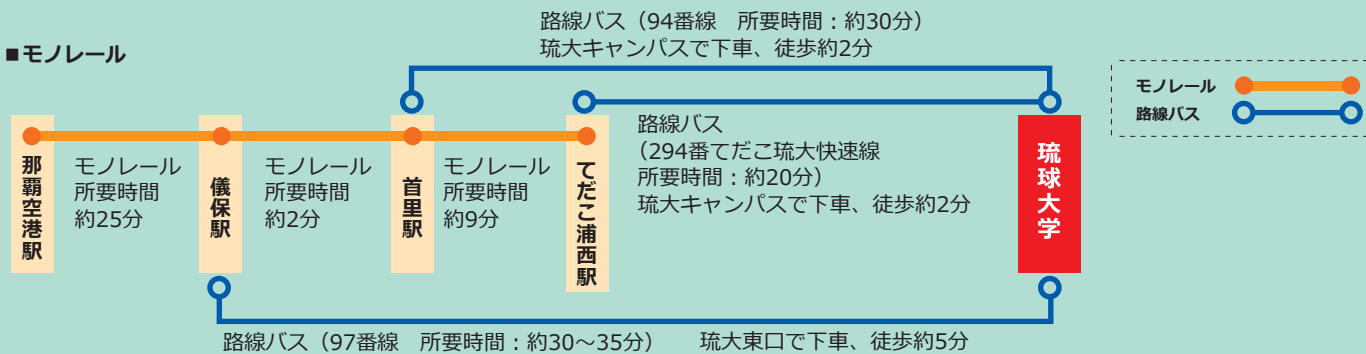
国際法政学科・人間社会学科・琉球アジア文化学科

交通案内

空港 → 琉球大学 (人文社会学部)

- 高速バス 111 番線、117 番線 (琉球バス・沖縄バス・那覇バス・東陽バス)
113 番線、123 番線、152 番線 (琉球バス)
国内線旅客ターミナル前⇒琉大入口 (約40~50分) 下車、徒歩15分

■モノレール



てだこ浦西駅⇒琉球大学までタクシーの場合、所要時間約10~15分

バスターミナル → 琉球大学 (人文社会学部)

- 路線バス (各20分~40分に1本程度/所要時間：97番→約60分 98番→約50分)

97番線 (琉大東・北口方面) 経路 バスターミナル⇒国際通り (牧志) ⇒儀保 (首里) ⇒琉大附属病院⇒琉大東口 (下車、徒歩約5分)

98番線 (琉大北口方面) 経路 バスターミナル⇒国際通り (牧志) ⇒国道330号⇒真栄原⇒沖国大前⇒琉大北口 (下車、徒歩約12分)

※ 交通渋滞のため、バスが定刻どおり運行していない場合があります。
時間に余裕を持ってご来学くださいますよう、お願いします。



「人文社会学部」に関する問合せ先 人文社会学部 学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL(098) 895-8188 FAX(098) 895-8187

人文社会学部事務室は、文系総合研究棟1階にあります。

「人文社会学部」に関連する最新情報は、琉球大学人文社会学部のホームページ (<https://www.hs.u-ryukyu.ac.jp/>) でご確認ください。



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS